

令和4年産米の 出荷・検査始まる

令和4年産米の収穫期を迎え、9月20日(火)から管内の農業倉庫やカントリーエレベーターなどで米の検査が始まりました。検査の開始を前に、9月5日(月)に検査業務を担う職員へ辞令を交付。今年度は28か所で、54人が米の品質検査に当たっています。

- 1 倉庫作業員を激励する佐藤広美組合長(椿川低温倉庫)
- 2 農産物検査員の辞令を受け取り、検査業務を適正に行うことを誓いました



今年も出荷はJAへ



JA秋田なまはげは、販売戦略に沿った計画的な米穀販売を行うことで、米の需要減退や米価が不安定な状況のなかでも、産地の地位向上と農業所得の安定化に努めます。消費者および実需者の需要に合った米の安定供給を継続するため、今年もJAに多数出荷くださいますようお願いいたします。

農作業事故・盗難などにご注意ください!

収穫・運搬の際や農業機械を使用中の事故、火災などに気を付けて、作業を行いましょう。また、県外では自宅近くの倉庫に保管していた玄米が盗まれる事件なども発生しています。農産物や農機具は倉庫などのしかるべき場所に確実に入れ、施錠を徹底するなど、十分に注意してください。